
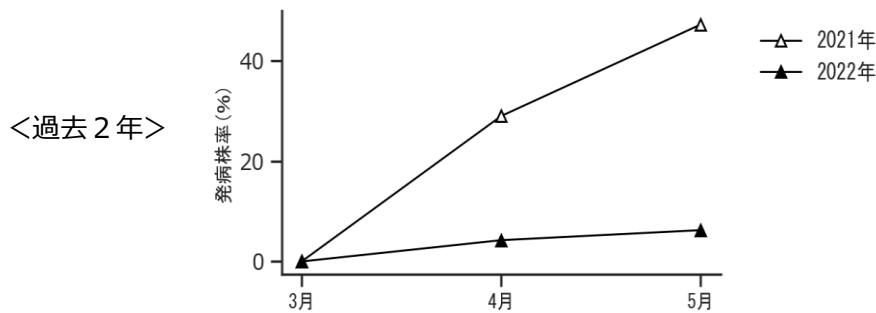
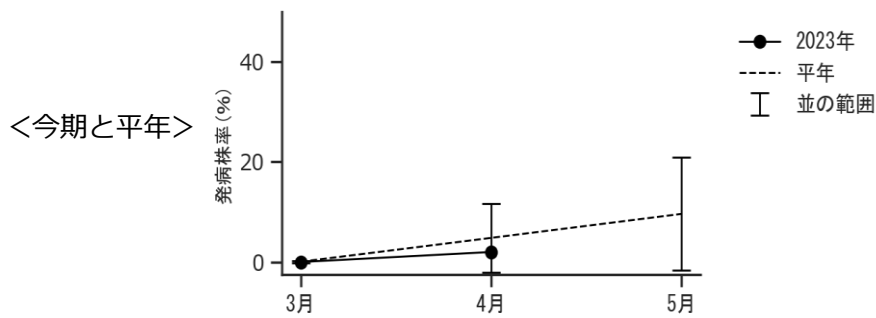


作物	水稻（1期）	地域	八重山群島
病害虫名	① 葉いもち病		
調査結果	4月の発生量（平年比）	並	
予報	4月からの増減傾向	↗	
	5月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）	

調査結果


発病株率の推移



- ・発病度0.5（平年2.5）
- ・発生ほ場率25.0%（平年：32.5%）

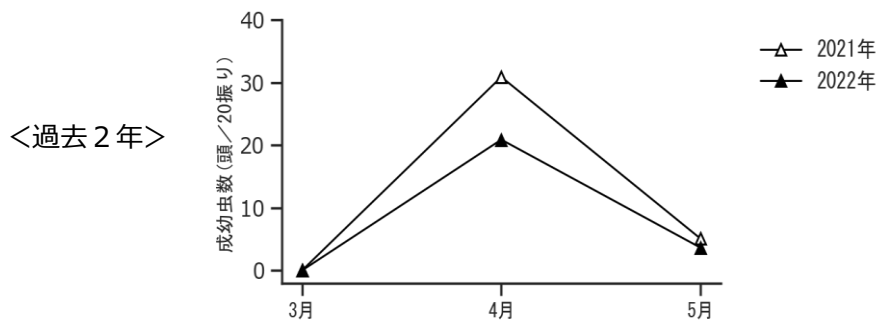
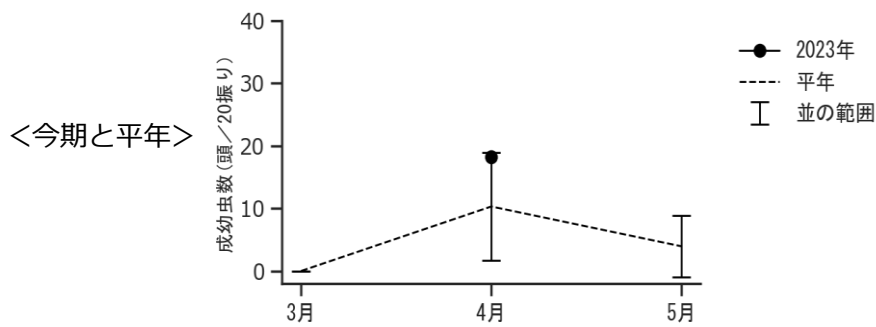
防除のポイント

- ・窒素肥料の過用により徒長した場合や葉色が濃い場合に発生が多いため、これらのほ場では施肥量を減らすか、ケイ酸資材の施用を行う。
- ・穂いもち病への移行を防ぐため、発生を確認したら速やかに薬剤防除を行う。
- ・発生の多い地域では、共同防除を行う。
- ・収穫後の被害わらは次作の伝染源となるため、水田付近に放置しない。
- ・汚染もみは次作の伝染源となるため、発生ほ場からは採種しない。

作物	水稻（1期）	地域	八重山群島
病害虫名	② セジロウンカ		
調査結果	4月の発生量（平年比）	並	
予報	4月からの増減傾向	↓	
	5月の発生量（平年比）	やや多	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↓）	

調査結果


成幼虫数の推移



・発生ほ場率93.8%（平年：69.1%）

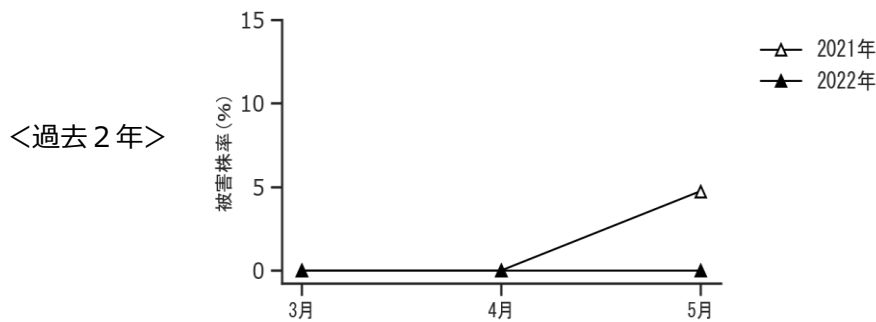
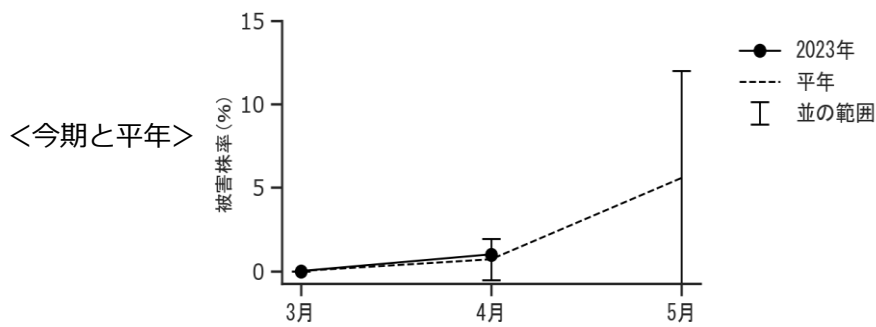
防除のポイント

・ウンカ類は株元に生息するため、薬剤防除を行う場合、株元に十分に薬剤がかかるように心がける。

作物	水稻（1期）	地域	八重山群島
病害虫名	③ コブノメイガ		
調査結果	4 月の発生量（平年比）	並	
予報	4 月からの増減傾向	↗	
	5 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）	

調査結果


被害株率の推移



・発生ほ場率6.2%（平年：11.5%）

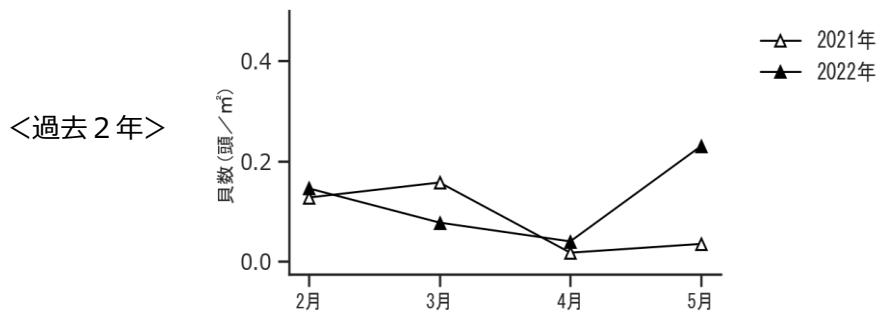
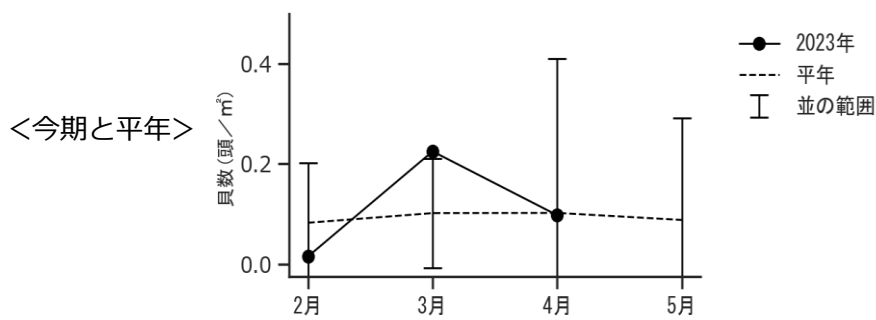
防除のポイント

- ・次作に向けた密度低減を図るため、収穫後に畦畔および水田周辺の除草を行う。
- ・老齢幼虫は防除効果が劣るため、粒剤では成虫発生最盛期、粉剤及び液剤ではその約1週間後に薬剤防除を行う。

作物	水稻（1期）	地域	八重山群島
病害虫名	④ スクミリンゴガイ		
調査結果	4月の発生量（平年比）	並	
予報	4月からの増減傾向	→	
	5月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（→）	

調査結果

貝数の推移



・発生ほ場率56.2%（平年：19.4%）

防除のポイント

- ・畦畔および用排水路周辺の雑草を除去し、産卵場所を作らない。
- ・次作に向けた密度低減を図るため、貝や卵塊は見つけ次第捕殺する。